

※ 解答は、《解答らん》に書きましょう。

宇和島市に住む平田さんは、ニホンカワウソについて調べたことを新聞にまとめています。次は、その下書きです。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【下書き】

まだいる？ もっていない？ ニホンカワウソ

環境省は、二〇二二年八月、生きた姿が三十年以上確認できないため、(①)を(②)に指定しました。

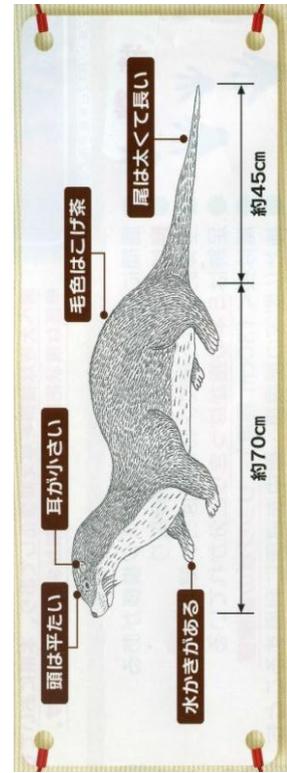
③ニホンカワウソは、イタチの仲間、体長は一メートル前後、尾が長いのが特徴です。戦前は、全国に生息していましたが、毛皮めあてにたくさんつかまえられたり、河川がよごされ、生活場所が破壊されたりしたため、戦後、激減し、一九六四年六月、国の特別天然記念物に指定されました。④環境省のデータによると、一九五五年から六十年にかけて、愛媛に一〇〇頭はいたとされています。

(年表)

ニホンカワウソの生態の調査を続けている宮田さんは、一九七五年に宇和島市の九島で保護されたメスを死後解ぼうし、「これが最後の一体になるかもしれない。」と、⑤国内でゆいいつの標本にしました。その後、一九七九年に高知県須崎市で生きた姿が発見されて以来、国内では見つかっていません。そして、二〇二二年八月、ついに絶滅種に指定されます。これは、昭和時代まで生存在したほ乳類が「絶滅種」に指定された、初めての例です。

(オオウナギの記事)

〈図〉



※ 環境省：国の行政機関の一つ。地球環境、自然環境を守ることを目的としている。

※ 特別天然記念物：世界的に重要なものとして、法律で保護が指定された動物や植物など。

【二ページ】

- 一 文中の (①)、(②) に当てはまる言葉を【下書き】の中からぬき出して書きましよう。
- 二 【下書き】の〈図〉は、文中の—線部③から⑤までのうち、どの内容を分かりやすくする効果がありますか。最もふさわしいものを選んで、その番号を書きましよう。
- 三 【下書き】の〈年表〉の部分に、次の年表を加えます。(1)～(4)に当てはまる出来事として最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つずつ選んで、それぞれ記号で書きましよう。

1964	年	(1)
1975	年	(2)
1979	年	(3)
2012	年	(4)

- ア 高知県須崎市で生きた姿を発見
- イ 環境省が「絶滅種」に指定
- ウ 国の特別天然記念物に指定
- エ 宇和島市の久島でメスを保護

四 平田さんは、この新聞を作成しているとき、宇和島市でオオウナギが見つかったというニュースを聞き、それを新聞につけ加えることにしました。次は、そのときのメモと記事です。

【メモ】

体長八一・三センチ、重さ一・一八キロ。	津島町で見つかったのは五十年ぶり。
まだまだこの地域にオオウナギがいる可能性が高まる。	一月二十日、絶滅のおそれのあるオオウナギが、宇和島市津島町で見つかる。

【記事】

まだまだいるぞ！ オオウナギ

一月二十日、宇和島市津島町で、絶滅のおそれのあるオオウナギが見つかりました。オオウナギの体長は八一・三センチ、重さは一・一八キロもありました。

()

このニュースを聞いて、いなくなるとされるニホンカワウソも、もしかすると生きているかもしれないと思いはじめました。

【記事】の () に入る文を、次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

- 【メモ】の内容をふくむこと。
- 四十五字以上、五十五字以内の一文で書くこと。

一

①

②

二

三

1

2

3

4

四

↓ 1111から書き出すこと。また、行を変えずに書くこと。

55

45

シート 24 正答例

一 ① ニホシカラウシ ② 絶めつ種

二 ③

三 1 ウ 2 エ 3 ア 4 イ

四 (例) 津島町で見つけたのは五十年ぶりであり、まだまだこの地域にオオウナギがいる可能性が高まりました。(48字)